

1. 新ディプロマ・ポリシー

教育の目的	<p>生物生産・資源利用と環境との調和を基本理念とし、地球スケールから地域スケールさらには圃場スケールまでのマルチスケールの視座と生物生産・循環型資源利用の視座から、生物生存環境、生物生産環境の保全・修復・創生と適正化を図り、環境と資源利用が調和した高度で持続可能な社会の構築に寄与する環境科学および生産科学に関する先端的・学際的知識、包括的思考力、高度な課題探求・解決能力ならびに国際性を有する研究者や技術者を組織的に養成する。</p> <p>【修士課程】サステイナブル資源として注目される森林バイオマスを対象に、生物生存環境と循環型資源利用が調和したシステムの確立を図り、持続的発展可能な社会の構築に資することを目的とし、持続可能な木質資源の創出に係る基礎科学、木質系エコマテリアル及び新機能材料の開発、森林由来の有用物質の探索と利用、ナノ、バイオ技術による新プロセス開発のための教育を行う。上記に係る所定の単位を修得し、論文を提出した者に、修士（農学）の学位を授与する。</p> <p>【博士課程】上記の修士の教育目的に加え、研究面を深化させ、サステイナブル資源科学分野における社会的要請への顕著な研究業績を上げる。その者に博士（農学）の学位を授与する。</p>
参照基準	<p>下記参照基準を参照して設定した「九州大学農学部地球森林科学コース」よりも幅広く、先端的な学修目標を設定している。</p> <p>日本学術会議分野別参照基準『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準-農学分野』2015年。 http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-h151009.など</p>
学修目標	<p>【修士課程】</p> <p>A. 主体的な学び・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然科学、特に森林環境に関わる非専門領域を含む幅広い学問分野に関心を持って、自ら進んで問題に取り組むことができる。 ・自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力を涵養し、周囲と協調し、共同して問題解決にあたることができる。 <p>B. 知識・理解</p>

- ・生物学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。
- ・化学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。
- ・物理学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。

C 技能 (C-1 専門的能力)

- ・生物学・化学・物理学・数式を業務に必要なレベルで理解し、新規の開発に利用できる。
- ・実験や計算の結果を解析・評価して、第三者評価に耐える形で解説できる。

C 技能 (C-2 統合・創造能力)

- ・現代科学、特にサステイナブル資源科学の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を見出し、生物学・化学・物理学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。

D. 実践

- ・学際的知識を社会に還元する意欲を有する。
- ・複眼的な視点を有し、多様な問題解決法を提案することができる。

【博士後期課程】

A. 主体的な学び・協働

- ・自然科学、特に森林環境に関わる非専門領域を含む幅広い学問分野に関心を持って、自ら進んで問題に取り組み、解決し、新分野の開拓に貢献することができる。
- ・自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力、教育力、指導力を涵養し、リーダーとして問題解決にあたることができる。

B. 知識・理解

- ・物理学・化学・生物学に関する基礎的・専門的知識について、新分野の開拓に応用できる程度に深く理解し、説明することができる。

C 技能 (C-1 専門的能力)

- ・生物学・化学・物理学・数式を業務に必要なレベルで理解し、新分野の開拓に利用できる。
- ・実験や計算の結果を解析・評価して、第三者に評価される形で解説できる。

C 技能 (C-2 統合・創造能力)

- ・現代科学、特にサステイナブル資源科学の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を見出し、生物学・化学・物理学の知識を統

合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発、実問題の発見・解決、及び新分野の開拓に利用できる。

D. 実践

- ・ 先進的・学際的な知識を社会に還元する能力を有する。
- ・ 複眼的な視点を有し、多様かつ斬新な問題解決法を提案することができる。

2. 新カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーを達成するために、別表（カリキュラム・マップ）の通り、教育課程を編成する。すなわち、生物生産環境、生物生存環境の保全・修復・創生と資源の高度な生産・加工・利用を図り、環境と資源利用が調和した持続可能な社会の構築に寄与する人材を体系的に育成するため、専攻内の各研究分野の分担・連携と複数指導教員制の下、講義科目の授業および学位論文の作成等を通して、環境科学および生産科学に関する先端的・学際的知識、包括的思考力、高度な課題探求・解決能力ならびに国際性を組織的に教育する。

【コースワーク】

修士課程

サステナブル資源として注目される森林バイオマスを対象に、生物生存環境と循環型資源利用が調和したシステムの確立を図り、持続的発展可能な社会の構築に資することを目的とし、持続可能な木質資源の創出に係る基礎科学、木質系エコマテリアル及び新機能材料の開発、森林由来の有用物質の探索と利用、ナノ、バイオ技術による新プロセス開発のための教育を行う。

博士後期課程

上記の修士の教育目的に加え、研究面を深化させ、サステナブル資源科学分野における社会的要請への顕著な研究業績を上げる。

【研究指導体制】

修士では研究を指導し、修士論文を完成へと導く主指導教官と2名以上の副指導教員から構成される複数指導制を取る。博士は複数指導制に加え、中間発表等で適切な指導・助言を行うアドバイザー委員会を設け指導を行う。

【学位論文審査体制】

修士課程

公開研究結果発表会を開いた上で、関連分野の審査有資格教官複数名からなる審査員が論文の内容について精査し、可否を決定する。

博士後期課程

公開研究結果発表会を開いた上で、関連分野の審査有資格教授を中心とした審査員が論文の内容について精査し、可否を決定する。

【継続的なカリキュラム見直しの仕組み（内部質保証）】

アセスメントは修士論文発表の際、博士学位論文発表の際に行う、授業科目内の教授方法や授業科目の配置、研究指導法の改善等について、コースカリキュラム検討委員会において検討することで、教学マネジメントを推進する。また、その結果については、「学府教育評価委員会」に報告し、分野の取り組みについて学府として査定を行う。査定結果はコースカリキュラム検討委員会へ通知する。

【アセスメント・プラン】

修士課程

ディプロマ・ポリシーに詳述されている次の項目を教官・学生それぞれの側から評価する。A. 主体的な学び・協働。 B. 知識・理解。 C. 技能（汎用的処理能力）。 D. 実践。これら項目の問題点を克服する為に必要なカリキュラムの検討・改善を図る。

博士後期課程

ディプロマ・ポリシーに詳述されている次の項目を教官・学生それぞれの側から評価する。A. 主体的な学び・協働。 B. 知識・理解。 C. 技能（汎用的処理能力）。 D. 社会に還元できる成果を含んだ実践。これら項目の問題点を克服する為に必要なカリキュラムの検討・改善を図る。

3. 新アドミッション・ポリシー

求める学生像

修士課程

サステイナブル資源として注目される森林バイオマスを対象に、生物生存環境と循環型資源利用が調和したシステムの確立を図り、持続的発展可能な社会の構築に資することを目的とし、持続可能な木質資源の創出に係る基礎科学、木質系エコマテリアル及び新機能材料の開発、森林由来の有用物質の探索と利用、ナノ、バイオ技術による新プロセス開発のための教育を行う。上記に係る所定の単位を修得し、論

	<p>文を提出した者に、修士（農学）の学位を授与する。</p> <p>博士後期課程</p> <p>上記の修士の教育目的に加え、研究面を深化させ、サステイナブル資源科学分野における社会的要請への顕著な研究業績を上げる。その者に博士（農学）の学位を授与する</p>
<p>入学者選抜方法との関係</p>	<p>修士課程</p> <p>入学者選抜においては、学部で修得した知識・実験手法を生かしてサステイナブル資源科学に関する先端的・学際的知識、包括的思考力、高度な課題探求・解決能力の修得と学際的かつ国際的に活躍するために必須となる英語、化学、生物学、物理学、数学などの基礎学力、および研究遂行のための熱意・能力・資質をもった人物を期待している。この選抜の結果、上記に値する学生の育成が速やかに行える。</p> <p>博士後期課程</p> <p>入学者選抜においては、修士で修得したより専門的な知識・実験手法を生かして、サステイナブル資源科学に関する先端的・学際的知識、包括的思考力、高度な課題探求・解決能力の修得と学際的かつ国際的に活躍するために必須となる英語、化学、生物学、物理学、数学などの基礎学力、およびさらに深い研究遂行及び社会貢献のための熱意・能力・資質をもった人物を期待している。この選抜の結果、上記に値する学生の育成が速やかに行える。</p>
<p>入学者選抜実施方法</p>	<p>修士課程</p> <p>外国語資格試験スコア 専門 口頭試問 外国人は加えて日本語</p> <p>博士後期課程</p> <p>口頭試問（英語能力の評価を含む） 外国人は加えて日本語</p>